無料（ご自由にお持ち帰り下さい）

編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121　ホームページ http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/

2018年
Vol.30

ほっとタイムズ

病院長メッセージ
「病院ボランティアを募集しています。」

教えてドクターQ&A　5月病について

高校生のための看護体験プログラム

特集『平成29年度 アンケート調査結果』…2～3

ドクター紹介 ……5
リハビリテーション科　部長　鈴木　聖一
救急科　医長　関根　良介

各科各部紹介 ……5
第16回　栄養サポート室

トピックス ……6
平成29年度　一般社団法人茨城県病院協会
病院職員表彰（優良職員）を本院職員８名が受賞
はじめまして！新診療科長のご紹介

トピックス ……7
平成30年度　辞令交付式を挙行しました
春休み 看護体験 in 茨城県立中央病院を開催しました！

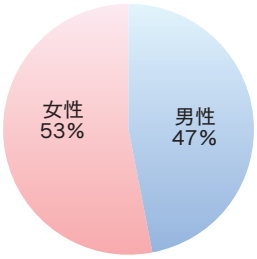
連携医療機関のご紹介 ……8～9
くらのクリニック
笠原歯科
大森矯正歯科クリニック

地域連携だより　各診療科のご紹介 …… 10
脳神経外科

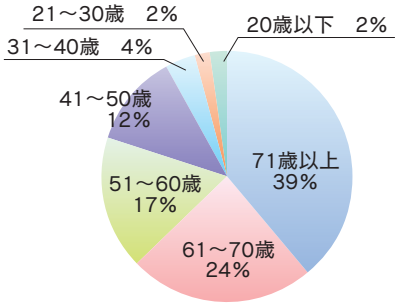
平成29年度 患者さま満足度調査 アン

外来アンケート調査結果　調査実施日：平成30年２月13日㈫～16日㈮

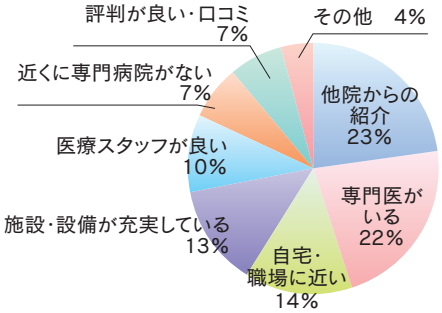
【性　別】



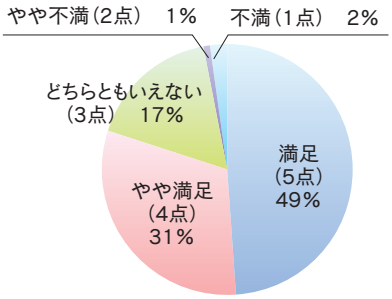
【年　齢】



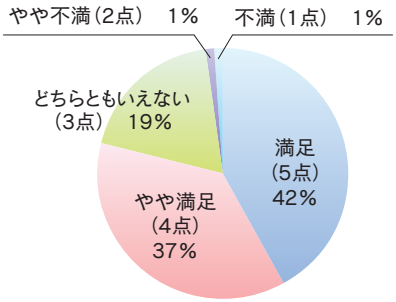
【当院を選んだ理由】



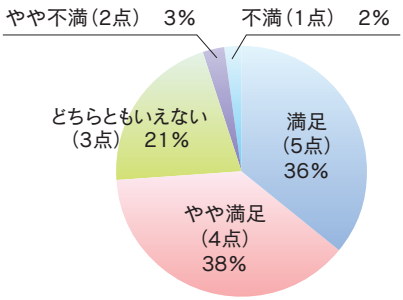
【職員の対応：医師】



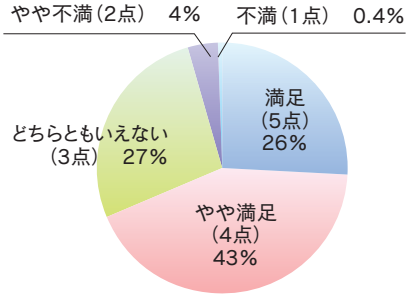
【職員の対応：看護師】



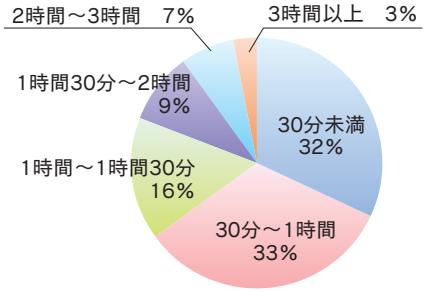
【職員の対応：事務】



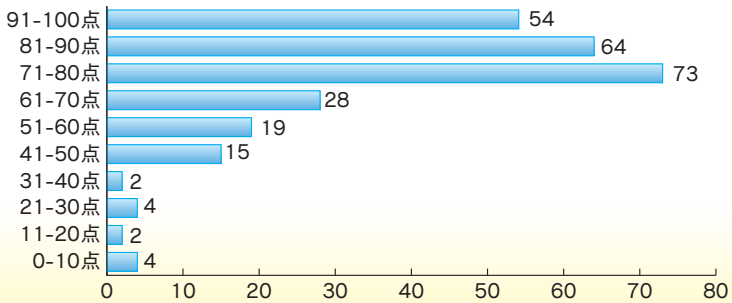
【院内の環境】



【待ち時間】



【当院を100点満点評価で評価すると何点ですか】



平均点数は**78.7点**

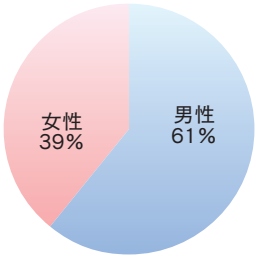
※平成29年度は待ち時間に対する不満の声が多く寄せられていました。平成29年10月に実施した電子カルテ更新の影響が続いたものと考えられます。

ケート結果

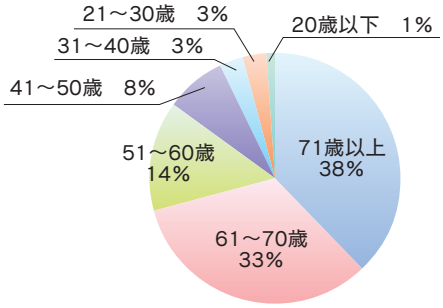
当院にてアンケート調査を実施いたしました。集計結果について皆様に報告させていただきます。頂きました貴重なご意見をもとに更なるサービス向上を目指し、改善の努力をしてまいります。アンケートにご協力くださった皆さま誠にありがとうございました。

入院アンケート調査結果　調査実施日：平成30年２月１日㈭～７日㈬

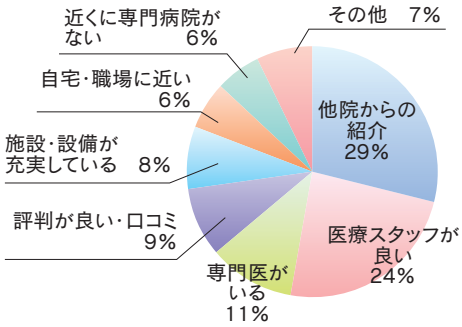
【性　別】



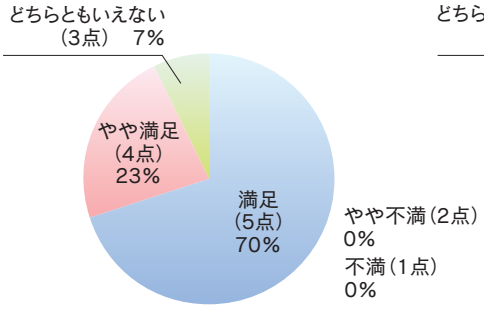
【年　齢】



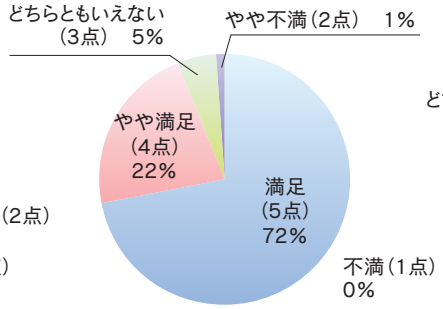
【当院を選んだ理由】



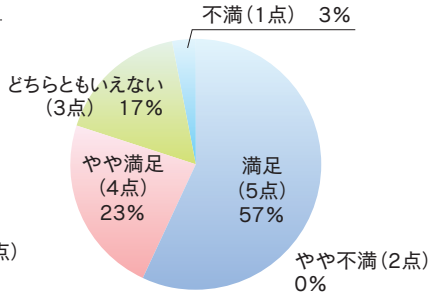
【職員の対応：医師】



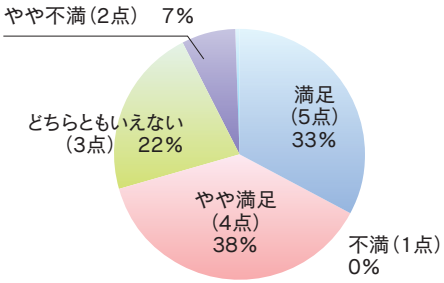
【職員の対応：看護師】



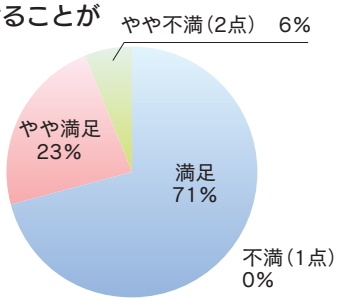
【職員の対応：事務】



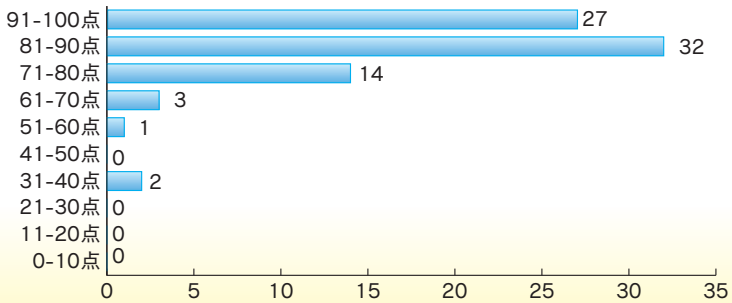
【院内の設備】



【当院に入院されて満足のいく入院診療を受けることができましたか】



【当院を100点満点評価で評価すると何点ですか】



平均点数は**88.3点**

教えてドクター Q&A

～こころの健康大丈夫？～
5月病について

新年度も始まり、新しい環境で緊張していた身体もGWでほっと一息ついたと思ったら、「この頃、こころがちょっと重いな」なんて時がありませんか。この時期によく話題になる「五月病」についてお話いたします。

Q：５月病とはどんな病気ですか。

A： 精神科医としては実は大変に難しいご質問です。というのも「5月病」という「病気」は正確には存在しないからです。多くの方が、5月になると「だるい」「やる気がしない」「元気がでない」という状態になることが多いことから、名前だけが一人歩きしてしまったと思われます。

Q：５月病の症状とはどのようなものですか。

A： 先ほどのご質問とつながりますが、病気ではないので特定の「症状」もありません。あえていえば「だるい」「朝なかなか起きられない」「寝付けない」「食欲がない」「元気がでない」「集中できない」「体力が落ちた」「なにかと面倒」などでしょうか。

Q：なぜ５月病になってしまうのでしょうか。

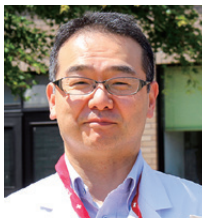
A： あくまで個人的な意見ですが、3つほど理由があると思います。まず、日本では仕事も学業も切り替えが4月なので、この時期に人間関係や仕事・学業内容が激変し、それになじむのにとてもエネルギーを使っている可能性。二点目は、年度初めで「がんばろう！」と知らず知らずにハイテンションになっていて、自分が疲れていることを自覚せずに動きまわっている可能性。そして最後はゴールデン・ウィークの過ごし方です。連休はとても嬉しいものですが（私も嬉しいです！）、ここで生活のリズムを崩してしまう可能性もあるでしょう。これらの疲労が5月になって一気に出てきてしまうのではないでしょうか。

Q：５月病にならないためにはどんなことに気を付ければよいですか。

A： なぜ五月病になるのかの逆を考えましょう。ただ「がんばろう！」と思わないようにするのは難しいので、まずご自分が張り切りすぎたり、緊張していること等を自覚し、時々でいいので思い浮かべて、リラックスする時間を作ってみてください。また今後の参考として、GWの過ごし方も考えてみてください。休暇中でも夜更かしをせず、三食をとり、ほどほどに運動して生活リズムを崩さないことが、大事です。

Q：５月病が長引いたら。

A： 多くの場合、疲労は適切な睡眠や食事、運動でやがて改善しますが、気分転換をしても疲れがとれない、そもそも気分転換をする気になれない、あるいは2週間以上、毎日のようにだるい、眠れない、何となく不安、意欲が出ないなどの場合は、体の病気またはうつの可能性があります。いくら工夫しても「5月病」が6月、7月…と続くようでしたら、医師に相談してください。ここで大切なのは「気分が落ち込むから心の問題だ」と早とちりしないことです。体の病気でもうつは出ますので、まずは体の点検をしっかりとなさってください。



精神科部長・
筑波大学地域臨床
教育センター教授
佐藤（さとう）　晋爾（しんじ）先生

佐藤先生からひとこと

心と体は結びつています。心の問題を解決するのに体を使う（運動する）、体の問題を解決するのに心を使う（ものの見方を変える）という工夫はいかがでしょうか？それから「医食同源」といいますね。あるいは日本語に「養生」という言葉があります。とてもいい言葉です。野菜やお魚などをしっかり取ることがうつ病予防になることや、生活習慣を整える、つまり「養生」することが心身の健康に大切なことは、医学研究でも証明されています。お薬やカウンセリングだけが心の問題を解決するのではありません。皆さん自身でも心のケアを工夫なさってみてください。

ドクター紹介

リハビリテーション科
部長
鈴木（すずき）　聖一（せいいち）

以前、整形外科医として、また、半年間の入院患者として、皆様には大変お世話になりました。今回、前任の林先生から引き継ぐ形でリハビリテーション科に赴任して参りました。時代の変化への対応、多様なニーズへの対応、より早い介入、に取り組んでおりますが、人手不足などの障壁は大きく、頭を抱えながら少しずつ進めております。何かと“他職種”の関与が求められ、皆様のお力なしには成り立ちません。これからもご支援をよろしくお願いいたします。2020東京パラリンピックをご存知かと思います。私は、障害者卓球や電動車椅子サッカーのお手伝いをしております。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非お声かけください。

救急科
医長
関根（せきね）　良介（りょうすけ）

千葉県銚子市出身ですが、茨城県内の高校から自治医大に入学したため、かれこれ10年以上茨城に住んでいます。日曜日が非番であれば「山下達郎のサンデーソングブック」を聴きながら家庭菜園と薪割りに精を出しております。

救急搬送を断らない、という方針を当院が打ち出している以上、避けては通れない重症外傷に対応するため平成25年から救急科として赴任いたしました。

救命のチャンスがある方を失うことがないよう、地域メディカルコントロールや院内の受け入れ体制の見直しも含めて、今後とも精進していきます。よろしくお願いいたします。

各科各部紹介　第16回　栄養サポート室

当院では、適切かつ質の高い栄養管理を患者様へ提供するために、多職種が集まり栄養サポート・チーム（Nutrition Support Team；NST）として活動しています。チームメンバーは、コアとなる医師、管理栄養士の他、看護師、薬剤師、検査技師、歯科医師、歯科衛生士、リハビリテーション・スタッフなど多岐に渡ります。

NSTでは、年間約500名の患者様への回診や医療スタッフからのコンサルテーションを通して、個々の症例に相応しい栄養療法を検討・提案し、栄養状態や病状回復、早期退院を支援しています。また栄養療法のアウトカムを検証し、リスク低減や医療安全管理への貢献を目指しています。こうした活動は日本静脈経腸栄養学会、日本栄養療法推進協議会からも認定を受けています。

栄養サポート室は新設された研修棟2階にあり、NSTの事務局として日々その活動を支えています。栄養について御相談がありましたら栄養サポート室まで御連絡頂ければ幸いです。

平成29年度 一般社団法人茨城県病院協会 病院職員表彰（優良職員）を本院職員8名が受賞

この表彰は長年の間、病院業務に従事し、病院の維持発展に多大な貢献をした職員に贈られるものです。今回の受賞者は25年以上、長い方では39年勤務し、より良い病院作りのために務めていただきました。8人の方の長年のご功労に敬意を表し、今後の更なるご活躍をお祈りします。

看護局　副看護師長　**原田（はらだ） 百合子（ゆりこ）**

中央病院に看護師として39年勤務でき、優良職員表彰を頂けたことは上司や同僚の支援と家族の協力のお陰と感謝しています。今後も表彰を受けたことを糧に看護師として頑張っていきたいと思います。

看護局　副看護師長　**中庭（なかにわ） 冨士子（ふじこ）**

思いがけない表彰に正直驚いております。38年間看護師として従事できたのも、ひとえに皆様の暖かいご支援のおかげであると痛感しております。心より感謝とお礼を申し上げます。

看護局　副看護師長　**米倉（よねくら）　英子（えいこ）**

この度、優良職員表彰を受けましたことは、病院関係者の御協力を得ながら、看護を行うことができた結果と考えております。今後も、この表彰に恥じない看護師として活動していきたいと思います。

看護局　副看護師長　**髙橋（たかはし）　清江（きよえ）**

栄誉ある賞をいただき身に余る光栄と思っております。定年までそう長くはありませんが、看護師として病院のため、患者さんのために尽くしていきたいと考えております。

看護局　技師　**川井（かわい）　昌章（まさあき）**

私は、30数年間栄養科において、病院給食を通じ、治療の手助けができればと思い勤務してまいりました。現在は看護助手として勤務しておりますが、今後も患者の方々に寄り添った看護ができるよう努めてまいります。

臨床検査技術科　副臨床検査科長　**鈴木（すずき）　洋志（ひろし）**

この度、このような素晴らしい賞を受賞することができたのも、ひとえに周囲の方たちの支えによるものと大変感謝しています。これからもより良い医療に貢献できるよう、より一層の努力をしていきたいと思います。

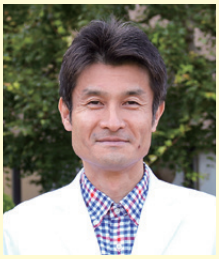
栄養管理科　専門員　**伊藤（いとう） 久美子（くみこ）**

この度、優良職員表彰を受けることができました。上司や同僚に支えられて続けてこられたのだと改めて思いました。心より感謝申し上げます。これからは、周りの助けとなるよう頑張っていきたいと思います。

放射線技術科　放射線技術科長　**青木（あおき）　誠（まこと）**

このたび、病院職員表彰を受賞いたしましたこと、大変光栄に存じます。平成3年、当院放射線技術科に奉職依頼27年間、主に放射線治療を担当できましたことは、ひとえに皆様のご厚情の賜物と感謝申し上げます。

はじめまして！ 新診療科長のご紹介



泌尿器科　部長
常樂（じょうらく）　晃（あきら）

平成30年４月より勤務になりました。

出身は神奈川県で、自転車で通えた海がなつかしく大学時代は水泳部にいそしみ、就職後はミクロネシアでスキューバーダイビングをするのが趣味でした。近年は子連れでゆくハイキングやスキーをたしなむ程度にしています。

途中出入りもありましたが筑波大学には約９年在籍し、とくに癌治療では複数の診療科と協力して行う総合力を養いました。

また生殖医療をサブスペシャリティーとして始め、県内でも妊孕性温存に配慮した癌治療が行えるように精子凍結保存システムを筑波学園病院や大学病院に構築する仕事を担ってきました。

これからも診療科として排尿機能、性機能、生殖機能に配慮した癌治療に貢献する努力をしてゆく所存です。よろしくお願い申し上げます。

平成30年度　辞令交付式を挙行しました

4月2日㈪、当院にも多くの新入職員が入職しました。辞令交付式では代表者に辞令が交付されたのち、吉川病院長より「私たちは患者様に優しく、質の高い、県民に信頼される標準医療を提供しています。今後も県内唯一の県立総合病院として県民の命と健康を守ることに尽力するとともに皆様には断らない救急医療を実践することを期待しています。」と式辞が述べられました。これからも信頼される地域の中核病院としてより良い病院作りを目指して参ります。

春休み 看護体験 in 茨城県立中央病院を開催しました！

春休み期間中に開催されたこちらの企画、募集時から大反響となり、3日間でのべ100人の高校生にご参加いただきました。当日は、スクラブ（ユニフォーム）を着ての記念撮影や一般病棟での見学や体験、そして医療ドラマにちなんで「コードブルー体験」（救急センターにて心臓マッサージや救急隊員用のメディカルバックを担いでみたり、ドクターヘリのヘリポートの見学など）や、「ドクターX体験」では実際に使われる手術器具を手にし、患者役と看護師役に分かれて手術室体験などをしました。また、「コウノドリ体験」では新生児の赤ちゃん人形を抱っこしながら、助産師が語る命の誕生と医療者の関りについてのVTRを見ました。今回のこの体験を通し、より看護師の仕事についてまた、医療について考える良い機会となってくれることを願ってやみません。ご参加いただいた高校生の皆さんありがとうございました。

参加者の声

●普段ではできない貴重な体験ができ、今まで以上に医療系の仕事に就きたいと思いました。 ●看護師さん達はみな、親切に教えてくれました。この病院のスタッフの皆さんは雰囲気がとても良く、ここで働きたいと思いました。●患者さん、看護師さん両方の立場がよくわかりました。とてもやりがいのある仕事ですね。●「看護師」といえど、色々な仕事があるということが分かった。リアルな現場を見ることができてすごく勉強になった。●1回の体験でここまでたくさんの体験ができるなんてすごい！充実した内容に感激しました。

かかりつけ医を持ちましょう

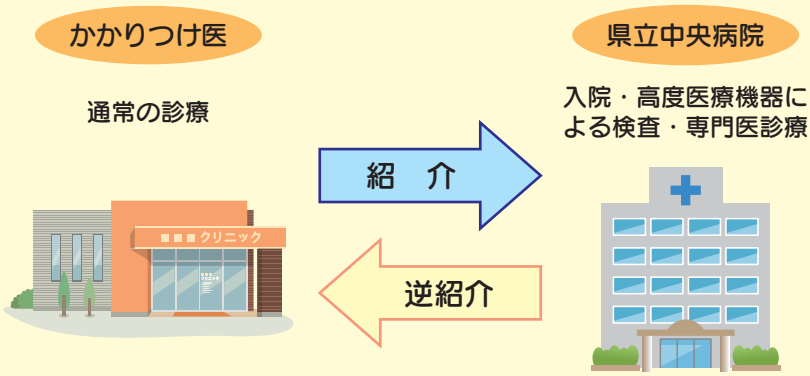
連携医療機関のご紹介

＊かかりつけ医を持ちましょう＊

当院は高度医療の提供・急性期疾患への迅速な対応をする急性期病院の役割を担っています。急性期病院としての病院外来診療の役割は急性期の患者さまを診察することであり、症状が落ち着いたら地域の医院・クリニック等で継続治療していただくのが望ましいとしております。当院の医療を必要とする一人でも多くの急性期の患者さまのために、当院で治療を終えられた慢性期の患者さまには、安心して地域の診療所（医院・クリニック等）で診ていただけるよう、当院では医師会の指導のもと、診療所と連絡を取り合い連携を強化しております。

【かかりつけ医の役割】

かかりつけ医は、まず、患者さまの初期医療に当たります。病状によって高度な診療・検査等が必要と判断した場合には紹介状（診療情報提供書）を作成し、適切な医療機関での診療を案内します。



くらのクリニック

院長　蔵野　康造

平成14年に開院して以来、16年目となる内科と皮膚科の二科で診療するクリニックです。

院長の蔵野康造は循環器専門医で高血圧、不整脈、虚血性心疾患などの循環器疾患や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の管理を主に、内科疾患を診療致しております。副院長の蔵野みのりは皮膚科専門医で新生児から御年配の方まで皮膚疾患全般の診療、漢方薬による皮膚疾患管理等を行っております。

患者様は水戸市内からだけではなく広く周辺市町村からも御来院頂いております。茨城県立中央病院様との病診連携により友部・笠間地区からも多数お越し頂いております。

医療法人くらのクリニックは地域に根ざし、患者様の健康を第一に考えた診療を目指しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

■所在地：水戸市堀町916－10（水戸市立渡里小学校近く）
■電　話：029－257－6111
■診療科：内科・循環器内科・皮膚科
■診療受付時間：午前7:30～12:00（診察開始9:00～）
午後12:00～18:00（診察開始14:30～）
■休 診 日：日曜、祝日、水曜午後、土曜午後

ここでは患者さまやご家族の日常的な治療や健康管理を考えてくれる、地域の身近で気軽に相談できるかかりつけ医である医療機関をご紹介します。

笠原歯科

院長　金澤　卓也

当院は茨城県庁に隣接し、一般歯科・小児歯科・口腔外科・インプラント・矯正・審美・予防とそれぞれ専門の担当医が新しい機器(CT・マイクロスコープ・セレックシステム・６種のレーザー）を駆使して診療に当たっております。スタッフは常勤３名、非常勤３名の歯科医と６名の衛生士、１名の技工士、さらに受付３名がおります。

当院の特徴は、**予約無しで診療する一般歯科**と予約が必要な矯正・予防など２つのルートで受診できることです。さらに広い駐車場（35台分）もございますので、お車の方も安心してご来院頂けます。スタッフ一同かかりつけ歯科医院として患者様に常に寄り添う診療をモットーとして日々診療に当たっております。

■所在地：水戸市笠原町887-10
（県庁すぐそば）
■電　話：029-243-8817
■診療時間：月火水金/午前9:00～12:30　午後15:00～19:30
木土/午前9:00～12:30　午後15:00～17:30
■休 診 日：日・祝祭日

大森矯正歯科クリニック

院長　大森　勇市郎

平成６年に矯正歯科専門で開業した大森矯正歯科クリニックです。院長は、平成５年から現在に至るまで茨城県歯科医師会館内の口腔センター水戸で非常勤歯科医師として診療してきました。平成20年からは、当クリニックでも一般歯科治療・訪問歯科診療を開始し、軽度の知的・精神障害児者や内部障害（心疾患・腎疾患・糖尿病など）者を対象にスペシャルニーズ歯科を積極的に展開してきました。また、低被爆のCTや炭酸ガスレーザー治療装置、エアフローによる歯面清掃など最新機器を導入しております。

医科歯科連携が重要な周術期の口腔ケアは、まさにスペシャルニーズ歯科といえます。歯科疾患は予防が重要ですが、本人の努力だけでは限界があります。かかりつけ歯科医で定期的な歯科検診と口腔ケアをうけることが大切です。

■所在地：水戸市見和3-1393-2（岩間街道沿い）
■電　話：029－252－1182（電話予約可）
■H　P：oo1182.com（ネット予約可）
■診 療 科：矯正歯科、歯科、小児歯科
■診療時間：午前10:00～12:30、午後14:30～19:00
■休 診 日：金曜、日曜、祝祭日（水･木午前）

地域連携だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、患者さまにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後とも宜しくお願いいたします。

各診療科のご紹介

脳神経外科

部長　鯨岡（くじらおか）　裕司（ゆうじ）

日本脳神経外科学会理事長の新井（あらい）　一（はじめ）先生は、日本における脳神経外科医の立ち位置を次の様に述べています。

～脳神経外科は基本的診療領域に属し、我が国の医療・医学を支える根幹的な診療科であります。現在では、全国全ての大学に脳神経外科学講座が設置されており、地域の基幹病院においても脳神経外科は欠くことのできない診療科となっています。また、多くの脳神経外科医が様々な形態の診療所・クリニックを開設しており、これらの活動はまさに第一線で地域医療に貢献するものといえます。脳神経外科医の活動は、神経系に対する高度な手術に限定されるものではなく、一般的な救急対応、MRI、CT、血管撮影などの画像診断、種々の神経疾患に対する非外科的治療、脳ドック、術前術後管理、リハビリテーション、長期予後管理と極めて多岐にわたっています。まさに脳神経外科は、「脳・脊髄に生じる疾患の予防、急性期治療、慢性期治療」を網羅的に行う診療科であり、脳神経外科医は「外科医の目と技を持った神経系総合医」といえます。～

さて、当院脳神経外科は、専門医２名と専門医を目指している専攻医１名の３名体制で診療に当たっています。

対応可能な訴えは、頭痛・めまい・しびれ・脱力・意識消失・顔面のけいれんや痛み・歩行障害・てんかん・視力低下・視野障害・ふるえ・呂律障害・もの忘れ・不眠など多岐にわたっています。

それらの訴えに対し、神経診察の後に、CT・MRI・脳血管造影検査・脳血流SPECT・脳波・認知機能検査・水頭症の検査(タップテスト)・頚動脈超音波検査などを駆使して診断を下します。

治療としては、手術治療・血管内治療・薬物治療・放射線治療・ガンマナイフ・リハビリテーション・在宅治療などを検討し、当科で対応困難な場合は、他科へのコンサルテーションあるいは、筑波大学脳神経外科を始めとする他施設と連携を図りながら治療を進めています。

何かお困りの際には、お気軽にご相談ください。

ー第13回ー 「病院ボランティアを募集しています。」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター
病院長 吉川裕之（よしかわ ひろゆき）

当院は日本病院ボランティア協会に属し、昨年まで約50名が病院ボランティアとして登録されておりました。ですが、ご高齢などの理由で多くの方が実質的な活動を停止されていることがわかり、本年度からはボランティアの内容を外来案内・送迎と緩和ケア病棟での活動などに絞り、5名から再スタートさせていただいております。しかし、さらなるサービス向上のため、病院ボランティア活動は今後活動範囲を拡大し、充実させていくことが必要だと考えております。ぜひ県民の皆様のご協力をお願いします。応募要件、申込み方法は当院のホームページの「病院ボランティア募集」をご覧ください。(http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/archives/recruit-info/volunteer)

当面は18歳以上(高校生不可)としていますが、今後は高校生まで年齢を下げて夏休みなどの時期に活動していただくことも考えています。

病院ボランティア活動は、免許を保持しない者が行うことが法規上問題ない病院労働を補完するという面に加えて、患者中心医療、患者参加型医療の実現など医療の変容にも貢献するとされています。患者さんの視点での病院改革にも協力していただきたいと考えております。病院ボランティア活動の基本条件は自発性、無償性、公益性ですが、その他の条件としては創造性、先駆性、発見性、継続性、専門性もあげられています。活動内容は患者さんの話し相手、案内・送迎、環境整備、レクレーション、図書貸出、食事介助、通訳など多様なものとなっています。

アメリカでの病院ボランティア活動は、制度として確立されており、患者さんへの奉仕精神からだけではなく、本人にとって活動のメリットがあることが発展の要因だったようです。医療系の学生については、学生中のボランティア活動が学校から直接評価されます。夏休み等を利用して、病院でリハビリのサポートを行ったり、車椅子の点検、浴室の清掃などを実施しているようです。実際に現場に入り活動することにより、医療現場の仕組みやスタッフとの交流などを通じて、それぞれの業務の意味や重要さを知り、医療人としての人間力を培うという考え方なのでしょう。

病院ボランティア活動は、病院の理念「私たちは、患者さんに優しい、質の高い、県民に信頼される医療を提供します。」を実現するために必須の事業と考えています。通院や入院中の患者さんが少しでも良い環境や状態のもとで、治療を受けられるよう、温かな手を差し伸べて頂ければと思います。ぜひ皆様の力をお貸しください。

お知らせ

紹介状をご持参されない患者様の受診時定額負担について

当院では、他の病院または診療所等からの紹介状を持参しない初診患者様について、初診時選定療養費として、4,320円(税込)をご負担いただいておりましたが、**平成30年４月１日から下記の金額**へ変更いたしました。これは、厚生労働省の定める平成30年度の診療報酬改定によるものです。ただし、救急車搬送による重症患者様・公費負担医療の患者様・15歳未満マル福をお持ちの小児科の患者様・産科受診の患者様等は、定額対象から除かれます。詳しくは、受付窓口へお問合せください。

◆当院では平成30年4月1日より、下記の通り料金を改定しております。◆

		現行(平成30年4月1日より)	改定前(平成30年3月31日まで)
初　診　時	医　　科	**5,000円(5,400円)**	4,000円(4,320円)
	歯科口腔外科	**3,000円(3,240円)**	―

(　　)内は税込み金額

※再診についても、当院での診療を終了して、他の医療機関に対し文書によるご紹介を行ったにもかかわらず、当院を紹介状なしで再度受診する場合に医科2,700円(税込)、歯科口腔外科1,620円(税込)をご負担いただきます。

ご意見箱から

●**中央病院発→友部駅行きのバスですが、11時台の便がありません。とても不便です。**

●ご不便をおかけし申しわけございません。平成30年3月17日より以下の通りバスが増便になりました。(※平日のみ) ぜひご利用ください。

友部駅発→中央病院行き　11時50分発／12時20分発
中央病院発→友部駅行き　11時25分発／11時55分発

非常勤職員の募集

・職　　種：看護師
・募集人員：10名程度
・雇用期間：～平成31年３月31日
　　契約更新有り(条件有り)
・業務内容：外来診療、病棟診療の看護業務、診察の補助、医師の指示による採血や注射点滴等の業務、患者さんの状況把握等。
・資　　格：看護師免許
・賃　　金：時給1,133円～1,583円　他に賞与有り(院内保育所利用可)
・勤務時間：9:00～16:00または8:30～15:30
　　(原則として、この中で週29時間勤務)
　　勤務日･時間等は相談して決めます。
　　29時間以内をご希望の方もご相談ください。
　　進学や介護などにより、月に数日だけ夜勤希望の方もお受けします。
　　夜勤の場合の賃金・勤務時間については、別途協議いたします。

多くの女性スタッフが活躍中！
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先：事務局総務課　黒澤
☎0296－77－1121(内線2741)

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528　☎0296-77-1121　ホームページ http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/